

2015年創刊、月90万ページ読まれている「地域インターネット新聞」のダイジェスト・綱島版です

ネットで注目の話題

<http://hiyosi.net>

パナ工場跡の先進再開発「綱島SST」、来春に全面完成へ



水素ステーション/スインテラスと米アップル研究所「YTC」

パナソニック(旧松下通信工業)工場跡地の再開発「綱島SST(Tsunashimaサステナブル・スマートタウン)」(綱島東4)が来春のまちびらきへ向けた動きが加速しています。すでに米アップルの研究所「YTC(横浜テクノロジーセンター)」が今年春に本格稼働したほか、燃料電池自動車の燃料である水素を充填するENEOS(エネオス)の「横浜綱島水素ステーション」と併設のショールーム「スインテラス」

(入場無料=写真右)が3月にオープンしました。

綱島SSTは二酸化炭素排出量40%削減などの目標を定めた“都市型スマートシティ”として、パナソニックと野村不動産が、複数の企業や団体と協業し、エコ化やセキュリティ対策などで先進的な取り組みを行っているのが特徴です。



タウン内では、来年3月までに慶應義塾大学の国際学生寮や、94戸のエコマンション「プライド綱島SST」が完成予定。一方、今年秋のオープン予定としていた大型スーパー「アピタ横浜綱島店(仮称)」は、「売場構成やテナント数などを再検討している」(ユニー)といい、開店は来年春ごろとなる見通しです。

「市郊外部の再生や環境未来都市の実現に向けた大きな一歩」(林文子・横浜市長)と期待される先進的な再開発。来年春にどんな姿を見せてくれるのでしょうか。

綱島の地域ニュース

● 通級が移転の綱島小、体育館など建替えへ

綱島小では、2020年4月に綱島東小から「通級指導教室」が移転してくる予定があり、そのため体育館と同教室を合わせた4階建て複合校舎を建設するとともに、プールも建て替えられる予定。今後、教育委員会では解体や工事計画を調整する方針です。

● 綱島地区連合自治会の会長に佐藤誠三さん

綱島の14町内会・自治会からなる「綱島地区連合自治会」では、大谷宗弘会長(中央町会)に代わり、中町自治会の佐藤誠三会長(写真)が就任する予定。5月下旬の総会で正式決定する見通しで、同連合自治会の会長交代は28年ぶりとなります。



● 新綱島駅へ2棟の高層ビル通じた連絡を検討

横浜市は、新綱島駅(仮称)と綱島駅東口を結ぶ「立体横断施設」の本格的な検討に入ります。両駅前建設計画のある2棟の高層ビルを経由して綱島街道を横断するもので、ビル建設などの再開発に向け、今年度2億2000万円超の予算が付きましました。

防犯 街の安全

綱島で2件600万円の詐欺被害

港北警察署管内で「振り込み詐欺」や「オレオレ詐欺」の被害数が最多となる危機的状況です。3月までに綱島西で約400万円、綱島東でも約200万円の被害に遭う詐欺事件が起きています。



神奈川県警制作の映像より

電話先の犯人は訓練された詐欺のプロ集団。電話に出ない、録音するなどの対策が必要です。

ひ 発行者からお知らせ

2015年7月に創刊したインターネットの「横浜日吉新聞」はまもなく2周年。今回初めて綱島の情報だけを集めた紙の「綱島ダイジェスト版」を作りました。インターネット版では、日吉・綱島・高田エリアに特化したニュースを毎日掲載しています。スマートフォンやパソコンでもぜひご覧ください。

【発行元】一般社団法人 地域インターネット新聞社
横浜市西区北幸1-11-1 水信ビル7階

【裏面もご覧ください】

食堂たんと(定食・カフェ・日本酒の店)

<http://hiyosi.net>

綱島小学校前の「食堂たんと」で、父子が奏でる食のハーモニー

食事とデザートを楽しめる、新しい隠れ家的な定食店(カフェ・居酒屋)「食堂たんと」が、今年1月に綱島小学校の正門前にオープン。店名は“たんと”召し上がってもらえたら、との想いから命名。ランチタイムは定食とカフェ、夜は日本酒やささまざまな料理を楽しめるアットホームな雰囲気の店内には、落ち着きを感じられる「和モダン」の空間が静かに広がっています。全て「手仕込み」にこだわる料理やデザートも人気となり、綱島周辺で大きな話題となっています。



食堂たんと公式ホームページ
(<https://shokudotanto.shopinfo.jp/>)

● 職人ブームから和食店で修業、独立へ

同店の店主・堀田(ほった)健一さんは鶴見出身。高校時代にアルバイトをした和食店で経験から、“料理って面白い”と感じ、当時一大ブームを巻き起こしていた料理職人に憧れ、都内の老舗和食店で修業。以降も、和食や洋食、エスニックと、様々なジャンルの料理人として活躍した後、この綱島の地に現在の店をオープンします。



店主の堀田健一さん(右)が料理、父の耕造さん(左)が菓子作りを担当。「親子のハーモニー」を味わえる

店内外のレイアウトもすべて“手作り”で行ったという堀田さんをバックアップしているのが、堀田さんの家族たち。接客部門を担当する母・美奈子さんの存在も心強く、また「OLとして別の仕事に就く妻が、メニュー表からホームページの作成まで、精一杯手伝ってくれているんです」と、まさに「家族ぐるみ」でこの食堂たんとを運営しています。

● 菓子“職人”だった父が洋菓子作りを担当

菓子職人としてのキャリアを持つ堀田さんの父・耕造さんは、約20年間のブランクを経て、再び「パティシエ」として活躍中。デザートやお茶タイムにも楽しめる洋菓子や和菓子も、店の雰囲気にぴったり合うようにと工夫されています。選りすぐりのドリンク類もスイーツの味を引き立てます。



チーズケーキと綱島の店から仕入れた珈琲

● 料理は「全て手仕込み」近隣店から仕入れも

独立直前まで勤務した割烹小料理店での経験を活かし、ソースやドレッシングまで、「全て手仕込み」で行っているという堀田さん。ランチの「週替わり」プレート(税込1000円)には、ぎっしり主食、おかず、小鉢が並び、「和食メイン」の優しい味わいを楽しめます。また、近隣店舗からパン(パッケージ)やコーヒー豆を仕入れるなど、「地元の食材にもこだわりながら、街に貢献したい」と、日々織り成す「食」の地域密着も、じっくりと味わい、楽しんでもらいたいと語ります。

綱島小学校前にオープン



ぎっしりと小鉢が並ぶ「週替わり」プレート

ランチタイムばかりでなく、ほっと一息休める喫茶店(カフェ)としての役割、また夜は美味しい日本酒も楽しめるような居心地の良い、“小粋”な居酒屋としての役割など、新しい街の“食堂”のかたちを目指し、日々発展する「食堂たんと」。家族がひとつになり奏でる日々のハーモニーに、ますます地域からの注目が集まりそうです。

● 食堂たんと(定食・カフェ・日本酒と肴の店)

綱島西2-17-18 酒のタケオ第2ビル1階
(綱島駅西口より徒歩7分・綱島小学校正門前)
営業時間: 11時30分~22時(L.O.21時) ※ランチ17時まで
TEL・FAX: 045-872-8951 定休日: 日曜・その他不定休あり
Instagram: shokudou_tanto Twitter: @shokudoutanto
Facebookページ: @shokudoutanto



横浜日吉新聞のツイッター(@hiyosi_net)は5,100人のフォロワー、フェイスブックは「いいね!」が1,700を超えました

